
《小説家になろう》

とーよー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

《小説家になろう》

【Nコード】

N2125U

【作者名】

とーよー

【あらすじ】

俺からのメッセージ作文

ども。

とーよーです。

このサイトの象徴的存在です。

俺の時代の幕開けの様でこのサイトの短編小説が少しずつ盛り上がってまいりました。

全ては俺のおかげです。…等と自慢するつもりはありませんが、俺がレベルの高い短編小説を書き上げる事により、おのずとレベルの高い小説が出来上がって来るのは当然の理であり、誰にとっても非常に良い事であり、文句を言われる筋合いも書かれる筋合いも無いと書いたうえで今回はナントナクそれらしい事を解説していきたいと思います。

まあ、このサイトにはランキングというヤツがあり、俺はどうかと見てみると頭を出たり引つ込んだりと、全く活躍していないわけでは無い様ですが……俺の中ではダントツずっと1位であり、これ以上は何も望まないものとし話を終わらせ、話題を変えます…。

「理論じゃない」

「理屈じゃない」

…等というセリフがあります。

まあ、言葉だけ書き出せばカッコ良く見えますが俺から言わせりやただのバカです。

カンケー無い話ですが、俺はたまに、街や駅等で歌を唄います。

ギターを弾き、ストリートミュージシャンというヤツです。（スリーコードという簡単なコードでしか弾けない、小説同様ヘタクソです）

絵も書きます。

（コチラもヘタクソです）

下手でも自由に参加出来るものが芸術であり、絵を描く時、大声で歌を唄う時。

それは間違いなく、感覚であり、ハイテンションでやりこなせるものだという気がします。

しかし、小説は違います。

文字です。言葉です。全てが理論で理屈です。

それこそが小説だとも思っており、作品を作った作者自身は発表する、しない、は別の話とした上で100パーセントに独自の視点を加えた120パーセントの理論付けを加え、全ての説明をやりこな

すだけの能力を備えてなければなりません。

デタラメは却下です。

アイデアや文法によつては一見めちゃくちゃだったり、分かりにくかったりしていても、理屈やルール、作品内での縛り（作者の意図）等をソレゾレに探らなければなりません。

それを踏まえた上で今回は俺自身の作品についてザックリとではあります。が多少何かを書いておきたいと思います。

まず2、3日前に書いた【ラスト災害】に関して解説的な事をしていきたいと思っています。

これは、サイト投稿等といった表舞台は勿論初めてですが、俺の脳ミソ内には1〜2カ月くらい前からあったものです。

地震が起こり、バカなアイドルや歌手達が、現地に出向き、家族や知り合いが沢山死んだ人達の前に華やかに立ち、イイ感じで歌を唄いあげ、挙げ句の果てには涙を流し、「逆に勇気をもらいました」等とバカな発言をする…それよりも少し前か…ちよつと前位から頭にあつたものなのです。

とにかく頭の中にネタが思い浮かんだ訳です。

【ラスト災害】というタイトルも決めていました。

ジャンルはSFと提示した方が正しいのですが、オチを含めた世界観に重点を置きたかったのでファンタジーという事にさせてもらいました。

パターンは展開スピードに重点を置き、一気に最後まで持っていた感じですが、もう少し寄り道させても全然作れるかなとは思いました。

まあ、あれはアレで良いでしょう。

次に移ります。

もう1本は最近俺シリーズの中では人気が高く、俺自身も反響にビツクリな【ショート小説】というヤツです。

どこかのサイトで絶賛気味だという噂を聞き、「イイカンジだぜ」と思ってるわけです。

このサイトに200文字小説というヤツがあります。

このサイト内での最低投稿文字数の200にピッタリと文字数を当てハメ、最短の200で小説や詩を書き上げるといった多少、挑戦的な類いの小説です。

まあ、それにはそれで、それ独特の良さがあるのでしょうが、そんな事より、その前に、俺には悩みがあったのです。

昔の小説どーしょーかー？ココをケツコー悩んでおり、昔の俺のマイサイトの中では昔の俺の小説達が悲しそうに泣いていました。

ハッキリいって駄作ばかりです。

今の100倍ヘタクソです。

1つ1つは、とてもココで勝負させれる物はなく、中には詩の様なものもあり、最低文字数200をクリアーしていない物も多い…。

「…こりゃー困ったぞ…」と、悩んだのも10秒程の事で【ショート小説】が完成したという訳です。

天才です。

まあ、天才かどうかを理論的に説明する事も出来ませんが、ソレはソレで、軽く1万文字は使ってしまうので【ショート小説】という小説の具体論のみの話に戻し、その路線で話をススメルものとしましよう。

この小説でやりたかった事はネタの多さとスピードです。

順番ゴチャゴチャ、手直しゴチャゴチャは多少しましたが、アイデア自体はほとんど変えずにとにかく昔の俺を見て下さい！という思いで一氣に詰め込んでしまったというものに過ぎません。

つまり、カスです。

ゴミクズの寄せ集めなのですが、チリも積もればナントヤラでどうか1本の作品にはなりました。

それがたまたま手法パターンが新しいものだったという事であり、狙ったものではありません。

別に作りたい人がいるなら同じパターンで作ってくれて構わないし、

逆に作れるものなら作ってみて下さいと書いておきます。

作れる訳がありません。

あれはアイデア力が相当に必要なものでアイデア力が売りの俺でも同レベルのものは当分出来ないでしょう。

出来たらタイミングを見て発表致します。

以上です。

まあ、今回は面白気もなく真面目にダラダラと俺独自の小説理論を書き綴ってしまった訳ですが、1度ココラヘンでこーいった物を書いておきたかった訳です。

なお苦情等ございましたら【小説家になろう】トップページのリンク先の雑談チャットまで来てください。

たまに俺がいます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2125u/>

《小説家になろう》

2011年10月9日04時44分発行